



Special  
特集  
Edition

その1

平成12年度  
予 算

沖縄開発庁

総額3,431億6,000万円

(対前年度当初比104.6%)

沖縄振興開発事業費3,162億7,000万円

(対前年度当初比103.6%)

・うち公共事業関係費2,935億5,600万円

(対前年度当初比102.3%)

一般行政経費等268億9,000万円

(対前年度当初比117.4%)

本土復帰後、沖縄の振興開発のための諸施策が講じられ、沖縄の経済は総体として発展してきましたが、沖縄の現状は、生活・経済基盤面ではなお整備を要するものが多く、また、産業振興や雇用の問題など、多くの問題を抱えています。

平成十二年度沖縄開発庁予算は、このような沖縄のおかれた

厳しい状況に配慮して編成されました。

政府予算のなかに占める公共事業関係費は、ほぼ前年度同額となっていますが、沖縄開発庁予算の大半を占める公共事業関係費は一千九百三十五億五千五百万円(対前年度当初比101.3%)となりており、沖縄に特段の配慮がなされています。また、十一年度に引き続き、沖縄政策協議会関係の調整費として、九十億円が計上されたほか、新たに、北部振興に関する特別予算として百億円が計上されるなど、沖縄重視の予算となっています。

1 沖縄振興開発事業費

(1) 県民生活に密着した施設の整備

・住宅の整備

公営住宅、特定優良賃貸住宅及び高齢者向け優良住宅の建設等を促進します。

・下水道の整備

公共下水道流域下水道、都市下水路、特定環境保全公共下水道の整備を推進します。また、中部流域下水道那覇浄化センターの下水処理水を高度処理し、那覇新都心地区を中心にもう用水として供給する「再生水利用下水道事業」を促進します。

・環境衛生施設の整備

西系列幹線導水施設の建設を推進するとともに、市町村の簡易水道及び上水道施設の整備を促進し、南大東村、北大東村の海水淡水化施設の増設、改良に着手します。



県営天久高層住宅(完成予想図:沖縄県)

・都市公園の整備  
沖縄記念公園海洋博覧会地区において新水族館建設を促進するほか、首里城地区において京の内の整備を進めます。

・中城公園等の整備を進めるほか、新たに、宜野湾市「しちゃばる公園(街区公園)」等の整備を進めます。



「しちゃばる公園」完成予想図

# Estimate



中部合同庁舎(福祉・保健所棟)

- ・中部保健所(仮称)の整備等に着手するほか、医師・歯科医師派遣事業等を引き続き行います。また、沖縄サミットにおける救急医療体制を確保するため、本土から専任の医療スタッフ(医師、看護婦)の派遣を行います。
- ・与那地区的地域防災対策総合治山事業及び国場川、安里川等都市部の河川改修事業や北前海岸、博愛漁港海岸、金武湾港海岸等の海岸環境整備事業及び、久茂地川の河川環境整備事業を推進します。
- ・(2) 水資源の開発
- ・羽地ダムの建設を促進することも引き続き大保ダム、億首ダム、生活貯水池の建設等及び儀間川総合開発等の実地計画調査を進め、また、福地ダム調整水路施設改良事業を進めます。
- ・西系列等水道水源開発等
- ・大保ダム及び大保ダム以南の四河川と南部地域を結び、東系列道水施設とあいまって本島での安定した水道水の導水を行うための西系列等導水施設の建設を引き続き推進します。
- ・工業用水道の施設の整備を推進します。特に本島北部地域の振興等を図るために、名護市西海岸地区に対する工業用水供給施設の整備に新たに着手します。



羽地ダム完成予想写真



建設の進む都市モノレール駅舎(空港駅)

- ・空港の整備
- ・那覇空港のエプロン等の整備を進め、航空保安施設等の整備を行います。新多良間空港の滑走路整備、宮古空港の誘導路の整備、久米島空港等他の空港についても航空保安施設等所要の整備を進めます。
- ・(4) 農林水産業振興の基礎条件の整備
- ・農業農村の整備
- ・国営かんがい排水事業として羽地大川地区、宮古地区、沖縄本島南部地区及び伊是名地区の事業の推進を図るとともに、ほ場の整備や耕土の流出防止等畑地基盤の整備及び農地の防災保全を推進するほか、道路網の整備、農業集落排水等農村の生活環境の整備等や、畜産基盤再編総合整備事業等を推進します。



那覇空港新ターミナル地域

## ・教育施設整備

- ・県立養護学校の整備、泡瀬養護、美咲養護、老朽校舎の改築、学校水泳プール等の整備を行います。
- ・文化施設整備

- ・国立組踊劇場(仮称)の建設を行います。
- ・保健衛生対策の推進

- ・中部保健所(仮称)の整備等に着手するほか、医師・歯科医師派遣事業等を引き続き行います。また、沖縄サミットにおける救急医療体制を確保するため、本土から専任の医療スタッフ(医師、看護婦)の派遣を行います。

## ・(3) 交通体系の整備

- ・道路の整備
- ・那覇空港自動車道(南風原道路、豊見城東道路)の整備を進めるほか、沖縄都市モノレールのインフラ部分等に重点をおいて道路の整備を行います。

- ・その他、国道の整備、県道の整備、市町村道の整備、街路の整備を進めるとともに、「十地区画整理事業、交通安全事業等を推進します。

### ・港湾の整備

- ・那覇港において、臨港道路空港線、新港ふ頭の国際海上コンテナターミナル、防波堤等、中城湾港新港地区では、泊地、岸壁等の整備を推進し、また、中城湾港アリーナタウンプロジェクトを推進します。

- ・平良港においては、防波堤の整備のほか、トクリバー地区の「アーバルリゾートプロジェクト」を推進し、石垣港においては、防波堤、フェリー岸壁等の整備を進めます。
- ・地方港湾においては、引き続き防波堤、岸壁等港湾施設の整備を進めます。

# Estimate

・植物防疫対策等  
ウリミバナについてせき 沖縄本島南部  
と八重山群島において再進入防止  
対策を、ミカソウミバナについても進  
入防止対策等を図り、イモソウムシ  
等の根絶のため、久米島においてウ  
リミバナ同様  
の不妊虫放飼  
法による根絶  
防除実証事  
業を実施しま  
す。糖業振興  
についても引  
き続き助成を  
図ります。

・漁港の修築、改修、漁業集落環境  
整備事業等や増殖場造成事業等を  
推進します。

・森林保全整備事業、森林環境整  
備事業を推進します

(5) 沖縄北部特別振興対策特定開  
発事業推進費(仮称)

沖縄北部地域の振興策のために、公  
共事業関係経費として、五十億円  
を計上しております。

(6) 沖縄政策協議会関係経費  
十一年度に引き続き公共事業関係  
経費に五十億円の調整費(公共事  
業費の内数)が計上されたほか、非  
公共事業関係経費として沖縄特別  
振興対策事業費(仮称)に四十億円  
が計上されております。(この経費は、  
十一年度に実施した緊急対策事業(沖  
縄自動車道利用促進事業と沖縄  
県産業振興拠点整備事業)の継続  
事業経費となっております。



イモソウムシ

## 2

### 一般行政経費等



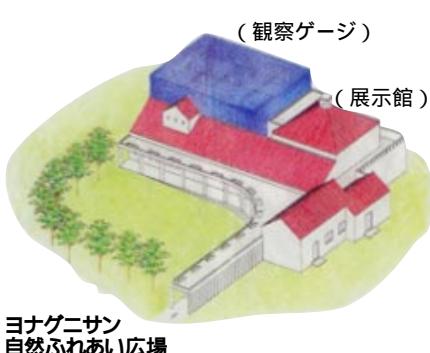
モナル流域等における総合的な  
赤土等流出防止策の構造調査を行  
います。  
海洋深層水は、農業、水産業を始  
めとする有用物質生産、医療、健康  
増進分野等広い分野での利用可能  
性を有しております。取水適地とされる  
沖縄においての有効利用に関する  
調査を行います。  
沖縄振興開発金融公庫の補給金  
等経費により、沖縄創業者等支援  
緊急特別資金の恒久化等の融資制  
度の拡充を行うほか、産業開発資金  
に関する業務機能の拡充を図ります。

沖縄の自然環境と伝統文化等を  
活かした滞在型・参加型観光の環境  
整備のため、ハード、ソフト両面から  
なる事業を促進する沖縄体験滞在  
交流促進事業の事業モニタリング策定等  
を行います。

第三次沖縄振興開発計画後の課  
題及び沖縄の振興開発の在り方の  
基本方向等を明らかにするため、総  
合的な調査を引き続き実施します。



中城湾港新港地区



沖縄北部特別振興対策事業費  
(仮称)  
沖縄県北部地域の振興策のために、  
非公共事業関係経費として一般行  
政経費に五十億円を計上しております。